



湘南のみなさん

さあ、行くぞ!  
消防出初式にて \*二消会のみなさん

※各分団長OBで組織されている会

# 議会だより

平成22年  
12月定例会  
12/15~12/22

—新議会の構成決まる—

- ▶ 杉崎俊雄氏を議長に！副議長には池田宏氏を選出…………… 2 P
- ▶ 町長所信表明／それに対する総括質疑…………… 4 P
- ▶ 新人議員も含め8議員が一般質問…………… 8 P
- ▶ 私の抱負…………… 12~13 P
- ▶ 町を彩る団体紹介…………… 14 P

3月定例会のお知らせ

2月25日(金)から開会の予定  
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

# 新議会構成決まる

12月3日に第2回臨時会が開催され  
“期待に応える議会”へ邁進



二宮町議会は、12月3日の臨時議会において、正副議長選挙が行われた。議長に杉崎俊雄議員、副議長に池田宏議員を選出した。

議会選出の監査委員に二見泰弘議員を選任することについて町長より同意を求められ、全会一致で同意した。

議会改選に伴い各常任委員会の委員も一新された。

選挙は各議員が第一志望、第二志望委員会を提出、正副議長を含む6名の選挙委員会で決定した。また、議会運営委員会委員及び議会だより編集委員6名が選出された。

議長選挙  
杉崎俊雄 10票  
無効票（白票） 4票

副議長選挙  
池田宏 6票  
小笠原陶子 5票  
無効票 3票  
（内白票） 2票

二宮町議会  
議長 杉崎 俊雄  
副議長 池田 宏  
監査委員 二見 泰弘

## 議会運営委員会

◎委員長 小笠原 陶子  
○副委員長 西山 宗一  
委員 神保 順子・原 富士徳  
根岸 ゆき子・二見 泰弘

## 常任委員会

### 総務建設経済常任委員会

◎委員長 原 富士徳  
○副委員長 根岸 ゆき子  
委員 池田 宏・添田 孝司・近藤 行宏  
二見 泰弘・杉崎 俊雄

### 教育福祉常任委員会

◎委員長 三橋 智子  
○副委員長 神保 順子  
委員 西山 宗一・小笠原 陶子・浅賀 一伸  
桑原 英俊・脇 正文

## 議会だより編集委員会

- ◎委員長 神保 順子
- 副委員長 添田 孝司
- 委員 浅賀 一伸・原 富士徳・近藤 行宏
- 二見 泰弘

## 他の委員会

## 議会テレビ放映運営委員会

- ◎委員長 池田 宏
- 副委員長 三橋 智子
- 委員 小笠原 陶子・桑原 英俊・根岸 ゆき子
- 近藤 行宏

### 委員会制度…

本来はすべての議案を全議員で審議することが理想的だが、専門的な知識を要する議案については能率的に処理するために委員会制度がある。

二宮町議会の委員会には常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会がある。

### 常任委員会…

二宮町議会では、総務建設経済常任委員会と教育福祉常任委員会があり、議員はいずれかの常任委員となることを義務づけられている。(任期2年)常任委員会の役割りは、議会で付託された議案、陳情の審査などとして行っている。

12月議会定例会で付託された陳情(「仮称」風致公園に関する陳情)は総務建設経済常任委員会で、「医師・看護師等の

大幅増と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求め陳情書」及び「医療税制の存続と医療報酬への消費税ゼロ税率適用とする意見書提出を求める陳情」は教育福祉常任委員会で審査した。

- 1. 議会が公正円滑に運営されるために設置される。(委員数6名 任期2年)役割りとしては、
- 2. 議会の運営に関すること(陳情・請願の審査を行い陳情・請願を各委員会に振り分ける)
- 3. 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること

### 特別委員会…

必要がある場合において議会での承認を得て設置する委員会で、その事案の審査や調査が終了したときに解散する。

### 一部事務組合…

神奈川県他市町村と事務の一部を共同に行うため、規約を定めて設置する組合。県知事の認可を要する。

# 委員会とは？

### 議会運営委員会…

12月議会定例会で付託された陳情(「仮称」風致公園に関する陳情)は総務建設経済常任委員会で、「医師・看護師等の

第1回  
臨時会  
10/29

### 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院の勧告に基づき期末及び勤勉手当の支給率を改正するもので、年間支給月数を4・15カ月から3・95カ月と0・2カ月引き下げるもの。「2年連続の減額は職員の生活に大きな影響が出る。反対する」

「今回給与には触れず、9月に議員も引き下げたことにならない賛成する」等の討論があり、委員会では5対1、本会議では11対2で可決した。

### 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

職員と同様に期末手当の年間支給月数を0・2カ月引き下げるもの。全会一致で可決した。



★2 「健康で安心して暮らせるまち」

町の財産である豊かな自然を守り、子育て支援や小児医療制度の拡充に取り組み、子育てするなら二宮でと感ぜられる町づくりを築く。

★3 「町民が主役のまち」

町民と行政の信頼関係による行政運営が今後さらに重要になることから、ボランティア活動や地域活動を支援していく。

★4 「教育の充実を目指すまち」

子ども達が郷土を愛し、歴史や文化に誇りを持つて次世代に引き継げるよう、充実した教育環境の整備に努める。

★5 「町政の効率化とトップマネジメント」

持続可能なまちを実現するためのシステムの構築。町民の視点にたち、素早く行動に移すための組織体制づくり。経営感覚に富んだ職員育成を目指す。

2期目の町政運営に対し、全身全霊を傾注し運営の舵取りに取り組んでいく。基本方針は7つの分野に分けて進める。

★1 「広域行政」

地方分権改革推進法の施行によって地域主権の実現が加速している。経営感覚を身につけ、時代の流れに敏感に対応するための職員の意識改革、財政基盤の強化に努める。また近隣市町とは信頼関係を絶やすことなく、継続して連携していく。

# 坂本町長の所信表明

★6 「まちの活性化」

二宮ブランドの成功が、町全体の活性に繋がりがり経済効果をもたらすと信じ、農業・漁業の再生に努める。また海・山・川の自然を最大限に活用した日帰り観光の基盤づくりを推進していく。

★7 「財源の確保」

健全な財政基盤の構築を図るため、町民の意見を取り入れながら効率的な行政運営を計画的に進める。また先を見据えた積極的な投資を講じ、一方では徹底した無駄を排除し堅実な財政運営を行なう。

最後に、ゴミ問題については平成22年3月30日にゴミ処理広域化復帰に伴う覚書を締結した。今後、近隣市町との協調のもとに構築していく。

町長の所信表明に対し

総括質疑

## 子育て支援・広域行政情報・財源確保に努めよ

小笠原 陶子議員



小笠原 4年前の新町長所信表明とを比較するとトーンダウンし、抽象的表現だ。広域行政についてはごみの広域化と、消防の計画策定が予定されている。十分な情報公開と説明責任を求める。また「子育てするなら二宮でと感じていただけのよう子育て支援や小児医療制度の拡充」というが、一時預かりがない。早期に実現せよ。

一時預かり予算化する

町長 2期目に入り将来に向かって存在感のある町をつくる。ごみの広域化は4月の平塚市の首長



釜野トンネルは一日に1本しか  
バスが通らない山西小学校前

選挙終了後にはつきりする。確定次第情報を出す。子育て支援は、一時預かりのためにファミリーサポート制度を来年度予算化する。子育てサロンも3つ目を山西方面にと考えている。

### 経費削減に民営化も

町長 温水プール予算は5千万円が毎年赤字でいいのか。来年度、民間の運営で経費を安くする。コミュニティバスは、近々に神奈中の重役と会う。2年後に学校下の道が開通したら、循環型の路線バスを復活してもらう。稼働すれば今の釜野路線を廃止でき、小さなマイクロで路線も色々できるので待つてほしい。

時だと医者に行かれない」と苦情がある。町全体のバス運行計画、買い物や病院通いの不便地域の解消は重要な課題だ。

## 議会 Q&A

### ▼ 専決処分って何？

一例として国会等で3月末に地方税法や政令の改正が行われ、4月1日からの実施で、議会をそれまでに開催できないなどの理由で、町長が議会の議決なしに施行（処分）できるもの。但し、処分後は最初の議会で承認を求めねばならない。



### ▼ 陳情と請願の違いは？

住民が国や地方公共団体に意見や要望の要請を行うことで、請願は紹介議員（1名以上）が必要だが、陳情では必要ない。

### ▼ 継続審査とは？

常任委員会などでその陳情（請願）に対し、研究・検討が必要な場合、結論を持ち越して時期をみて再度審議すること。

### ▼ 一部採択とは？

請願・陳情の一部に賛成し得る項目等があった場合、その部分のみを指定して採択すること。

### ▼ 趣旨採択とは？

請願・陳情の願意については十分に理解できるが、財政事情等から当分の間は願意を実現することが困難な場合などに「趣旨には賛成である」という意味の議決をすること。

# 議会

## で決まったこと

### 神奈川県町村情報システム 共同事業組合の設置に 係る協議について

組合と関係14町村との間の情報ネットワークの整備、管理及び運営に関する事業、並びにこれに付帯する事務を共同処理するための一部事務組合を設置することに伴い議会の議決を求めるもの。

問 メリットはあるのか。

答 電算室の人員の削減が出来、費用も5年間で2千万円程度の削減効果がある。

問 派遣職員の費用は。

答 後日給料分は返還される。

問 年間管理費用は。

答 町は年間約400万円負担である。これで4年間運営する。

問 組合の議員は何故各町村議会議長としたのか。

答 重要な契約を結ぶことから議会の代表者である議長にお願いする。などの質疑があり12対1で可決した。

## 補正予算

### 一般会計

2千95万5千円を追加し、歳入歳出予算を各総額97億9千503万3千円とするもの。歳入の増加は地方交付税3千757万7千円、国庫支出金4千748万4千円、県支出金2千908万8千円。しかし、町税は景

気低迷の影響や課税者数減少による町民税の減少で9千319万4千円歳入が減った。

地方交付税増により前回の補正予算で可決された財政調整基金への積立金1億円を7千万円減額することで歳出を減らし民生費歳出増と町民税歳



障がい福祉サービス事業所（コスタ・二宮）  
自立支援の為に働く環境整備が必要

入減を調整した。

歳出の主なものは、障がい者を支援する事業で新規支援件数及び就労継続や移行支援の利用者増による自立支援給付事業5千431万2千円、小児医療費助成事業1千503万2千円、子ども手当支給事業2千290万6千円、子宮頸がん等ワクチン接種事業1千482万円、道路維持管理経費及び道路新設改良事業の計553万7千円であった。

防災対策費・庁用器具費82万円増では、既に設置されているものを含め防災コミュニティセンター16ヶ所全てが防災対応を目的に、BSアンテナと地デジ対応TVが設置される。

全会一致で可決された。

後期高齢者医療特別会計は1千649万8千円を追加、介護保険特別会計は21万1千円の減額、下水道事業特別会計は320万9千円を減額。

全会一致で可決された。

## 人事

### 副町長に

### 宮戸健次氏を再任

副町長に宮戸健次氏の選任を町長より求められ、全会一致でこれに同意した。

### 国民健康保険特別会計

1億3千559万8千円を追加し、歳入歳出それぞれを34億4千663万7千円とした。

一般被保険者および退職被保険者の療養給付費

なお、任期は1月1日から4年。

宮戸健次氏は、山西（梅沢）に在住の68歳で2期目の選任。

# 陳情

## はどうなった？

医師・看護師等の大幅増と  
夜勤改善で安全安心の医療・  
介護を求める陳情

趣旨採択

提出者は神奈川県医療労働組合連合会

陳情項目は①ILO看護職員条約に基づき、職員の夜勤労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とする②医療社会保障予算を先進国並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと③患者・利用者の負担を減らし、安全・安心の医療介護を実現すること。これらの意見書を国に提出することを求めるもの。

「①②は同意するが国家予算を考えた場合③は不可能だと思う」「政府は社会保障費を毎年2200億円削る一方で、大企業は応援を受け244兆円もの内部留保を抱えている。その一部を使わせるだけでも充分実現出来るはず」などの討論があり10対3で趣旨採択となった。



医療税制の存続と診療報酬への  
消費税のゼロ税率適用とする意見書  
提出を求める陳情

趣旨採択

神奈川県保険医協会より提出

陳情項目は①診療報酬の事業税非課税及び社会保険診療収入への租税特別措置法第26条の、医療税制の存続を求める。②診療報酬へのゼロ税率の適用を求める。これらの意見書を国に提出することを求めるもの。

「陳情趣旨は理解できるが消費税ゼロ税率の考えは、医療界だけでなく消費

費税の見直しとともに現在論じられている。診療報酬の改正でわずかだが改善に向かっていて、消費税が経営体力を奪っている。法人税減税により、消費税増税の可能性が高まっている。税制度によつて医療機関が脅かされてはならない」などの討論があり、12対1で趣旨採択となった。

(仮称) 風致公園に

関する陳情

趣旨採択

提出者はママ&キッズに優しい町、  
二宮を目指す会

内容は、平成23年より整備される風致公園内に水遊び場の設置及び、ラディアン駐車場の無料利用時間の延長を求めるもの。

「二宮の将来を考える」と子育てしやすい環境を創るといふことは、全ての人が理解するべき問題

内容をもう一度考慮すべき時間も必要である」などの討論があり、8対5で趣旨採択となった。



水遊び場が欲しいね！！

12月20日、21日の本会議では、8名の議員が町民の身近な問題9件を行政側に質問。この記事は本人の原稿に基づいて掲載したもの。

# 一般質問

## 今だからこそ地域バイオマスの利用を促進

原 富士徳議員

原 構想を国が制定し15年が経過し現在286の市町村が参加している。それぞれの市町村が地域内の未利用バイオマスを利用して農業・漁業・産

業の振興、地域雇用の拡大、住民の可処分所得の増加を目指している。既に先行自治体の成功例も報告されているが二宮町では、今までの構

想に特別な関心を持っていないとは思えない。今後の様に考えるのか。

町長 一般的に家畜排泄物、食品廃棄物又は間伐材などの有機物を堆肥やバイオ燃料、メタンガスなどに交換し地域に還元する大きな構想だと思っております。大切な提案とは思いますが今年、来年と言うふうにはならない。

循環型社会を目指し  
必要な構想だ

原 平成22年12月17日に国では更にこの計画を拡大しようとして「バイオマス活用推進基本計画」を発表し、10年後には計画策定自治体を600団体に

## 町の持続的発展のために 今後の町民税確保を問う

添田 孝司議員

構想を導入すれば、これまで出来なかった民間の事業も交付金対象とな

り民間参入が容易になる。町長 行政は意外と臆病なもので一番になる必要は無い、時間をかけて導入しても遅くない。原 農水省の主目的は廃棄物の処理ではなく、地域産業、農漁業の振興を目指している。一番を目指す必要は無いが既に286団体が推進している。

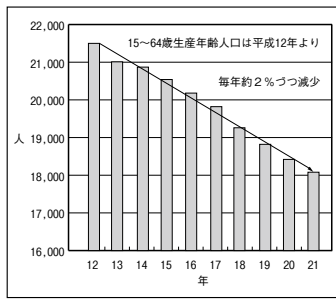
添田 平成21年歳入歳出決算説明書の今後10年間の財政見通しでは町税減少傾向が顕著。課税者数減が主要因では。

町長 22年度予算で町民税は町税の54%で大事。ここ数年落ち込んでいる。総務部長 町税見通しは制度改革もあり難しい。19年、21年町民税決算が示すように推計できない。住民税は翌年度課税で予測と根拠が推測しにくい。

添田 生産年齢人口は12年から毎年約2%減少。22年度課税者数は対前年約1・7%減で傾向に合致する。働き盛り層の恒常的な転入を計る政策を長期総合計画に反映すべきでは。

町長 二宮の将来はというテーマだと思うが特効薬がない状況だ。事業を継続し、人口増、税収確保につなげる

政策担当参事 自然環境や交通の便等、魅力の情報発信と子育て支援策の充実が重要だ。現総合計画では交通基盤整備等間接的、医療費助成等直接的な施策を行い、住環境や都市環境維持事業も展開している。事業を継続し、人口増、税収確保につなげたい。次期総合計画では現計画分析、町民意見、子育て環境や基盤整備の課題抽出を人口確保施策として反映する。添田 後期事業推進計画と長期総合計画策定で働き盛り層転入政策を重要課題として提案する。





# 駅前広場と周辺道路の安全対策とバリアフリー化を問う

## 三橋 智子議員

三橋 二宮小学校前の町道27号線両面通行を控え、駅北口の交通体系が危惧されている。駅前整備を具体的に示した「二宮町交通バリアフリー基本構想」の進捗状況と安全対策をうかがう。

町長 基本構想は平成22



だれでも安心して歩けるまちづくりへの期待度は高い

年度末で一定の目途がつくが、今後町道27号線の両面開通や、法務局の業務開始に伴い、新たな駅前対策の計画を早急に立てなければいけない時期だと認識している。

### 9割の整備は完了

都市経済部長 平成22年度中に国道・県道に点字ブロック等のバリアフリー整備と、駅南北通路にエレベーターを設置すると、基本構想で定めた9割の整備が完了する。27号線拡幅に伴う安全対策として、内原人道橋付近に信号機を設置し、北口商店街の終日一方通

行の検討など、交通体系の整備を進めていく。

### 委員会で検証を継続

三橋 交通機関関係者や障がい者団体の代表などで「協議会」を再度立ち上げ、基本構想の総括及び今後の計画を立てるべきだと考えるがどうか。

また特定地域を郊外まで拡大できるのか伺う。

都市経済部長 以前と同等の委員会を早急に設置して、今後も調査・検証を続けていく。郊外など町全体の交通体系の考慮は当然することになる。(他に地区要望の道路整備の取り扱いを質問)

## 町が目指すべき公園の在り方を問う

近藤 行宏議員

近藤 町長の所信表明の中で、子育て支援施策の充実が上げられている。子育て世代への施策の一つとして、日常利用する近隣公園の整備等を問う。

現在、町内の公園は量的には満足できる数値だが、質の面となると些か問題があると感じるが、公園の利用価値を高める

ことが重要である。維持管理、特色ある公園づくり、駐車場設置を問う。

### 駐車場の新設は行政だけでは無理

町長 現在の財政状況を考えると、町単独での維持管理は非常に難しい状況であり、地域住民の協



駐車スペースを確保  
利用し易く

力が不可欠である。地区や地域住民の要望などを検討して特色ある公園づくりに取り組んでいきたい。駐車場の新設については、近隣に用地が確保できれば整備に努める。

都市経済部長 維持管理については、町は順番で草刈り、清掃等実施するが、要望について100%応えられていない。各地区のご協力が必要と考える。モデル公園として梅沢中央公園をボール遊びのできる公園として整備した。今後は、規模や町内の配置、住民の要望を検討し公園計画を考える。駐車場用地が確保できる状況等があれば整備に努めたい。

近藤 地元住民の意見を十分取り入れ、会合や協議会などでよく案を練り、住民が納得してから実行に取り掛かるべきである。

# し尿処理施設の老朽化対策は 5年を目途に規模縮小を

根岸 ゆき子議員

**根岸** 桜美園にあるし尿処理施設は35年目を迎える老朽化対策を要する。今後の計画と大規模改善時期の見込みは。

## 優先順位は可燃ごみ

**環境部長** 過去5年間の修繕費として平均約2千万円だ。まだ同じ程度の負担で維持継続できるが抜本的改修も早期にしたい。しかし一番優先の大きな課題は可燃ごみの方向立ってだ。年明けに話ができる段階だが1市2町の可燃ごみ処理のスタンスを安定させたい。廃棄物処理という全体計画の中でスケジュールを組む。**根岸** 処理量についてだが、推計値は減る方向であり、現在受入れている平塚・大磯のオーバー分についても概ね3年なので確実に施設規模が縮小されるはずだがいかがか。

## 規模縮小、周知もする

**環境部長** 日量50klの施設で建設、現在の処理量は25klだ。処理内容も、生し尿と浄化槽汚泥の比率が逆転している現状。日量20〜25klへの更新が必要と考える。コンパクトな町に合った施設規模としたい。



脱水汚泥を焼却していた煙突が今も残る

**根岸** 改善計画には下水道直結方式が示されている。その内容は、また改修計画を近隣住民へ説明するなど対応は。

**環境部長** 3つの方式があるが、経費や詳細はこれからの検討である。近隣住民へはある程度の時点で協議の場を持ち、協力願う事業を推進したい。

# コミュニティバスの活用について問う

脇 正文議員

**脇** コミュニティバス検討委員会設置要項にある児童生徒の防犯対策への対応は出来ているか。運営の現状、経路・運用などに関し現在検討されているか。町の運行委託料1千230万6千円の算出基準と使われ方は。

**町長** 生徒は殆ど乗っていない。

## 現在は路線バスを補完するもの

**都市経済部長** 中学生の下校時刻に合わせ運行時間等変更しているが、スクールバスではないので随時の対応は困難。二宮小学校下の町道拡幅工事を完了を目指し町内の交通体系と調整を図り検討を行い、経路や運行時刻・運賃等柔軟に変化させる事業の見直しも必要と考える。運行委託料は人件費・燃料費約630万円。整備費・保険料等が約600万円だが、利用者運賃が約300万円なので年間経費は約930万円。



利用度を上げたいコミュニティバス

**脇** 乗らない理由を考えなければいけない。

**町長** 本数が少なく、帰りの便が悪い等の意見があり、痒い所に手が届くようにしていかないと成功しないのでは。学校下の道の開通で循環型になり小さなマイクロスバスで本数が増えればもう少し利用度が上がると思う。**脇** 児童生徒の防犯、荒天時対策としてコミュニティバスをスクールバス化して欲しい。他 二宮高校前交差点の交通安全対策を問う。

# 小中学校にエアコンを設置し 学習環境を整えよ

浅賀 一伸議員

浅賀 今夏の猛暑は強烈だった。地球温暖化によって児童生徒や保護者からも「エアコンが欲しい。34度もあった」「頭がボーっとして集中出来なかつた。扇風機を2台つけても32度」などの声があつた。皆が熱中症を

心配した。今後も厳しくなっていくことが予想される。エアコン設置は全国の流れだ。生徒や先生の体調や学習能力の面からもぜひ設置すべきである。

### 窓を開ければ十分

教育長 臨時校長会を召集し報告を受けたが、一部を除いて風通しが良い。悪い教室には扇風機を貸した。こまめな水分補給と、休憩時間を確保するよう指示した。今後はヘチマ・アサガオ等での壁面緑化など二宮の自然を生かして環境対策を進めていきたい。



扇風機2台回しても32℃って…

### 我慢強さが大切

教育次長 先生が早く来て窓開けをし、風通しを良くしている。  
浅賀 しかし暑いものは暑い。学習環境を保障すべきだと思う。  
町長 暑さを我慢し、逞しさを育てるのが大事だ。熱中症には注意したい。  
浅賀 熱中症が起こつてからでは遅い。前向きな検討を。

## 在宅高齢者への生活支援の ための早急なる対策をせよ

神保 順子議員

神保 急速に町の高齢化が進む中、介護保険制度は改正されるたびに使いづらいものになっていく。実際には家族の負担がまだまだ大きいのが現状。次期制度改正では要支援1・2の生活援助が縮小の方向で議論されている。

高齢者のみ世帯が増加していく中で介護保険を利用できない、またしない人への生活支援が必要になると考える。  
「地域福祉」の充実が益々重要になるものと考えるが、町の方向性はどうか。また第5期福祉計画ではどのようなことを検討しているか。

「町・社協・地域」で連携していく事が重要

健康福祉部長 平成23年度は第5期介護保険事業計画の見直しの年でもあり、今後ニーズ調査を行なっていく。役割分担として「地域福祉」は社会福祉協議会に担ってもらおう。社協では生活支援サービスを立ち上げる計画が検討されており、生きがい事業団でも昨年10月から有料でのごみ出し事業を始めた。システム化することで高齢者が安心して住める地域ができると考える。国や県の施策を待たずに町独自の施策に取り組んでいく。

神保 早急にシステム化することを望む。それまでは町もサポートしていくことが重要。しっかりと連携してもらいたい。



ゴミ出しや電球の取り替えって大変



# 議会基本条例制定に向け発信



二宮町議会  
議長  
杉崎俊雄議員

総務建設経済常任委員  
(無所属) 山西六五

皆様におかれましては、夢と希望に満ちた輝かしい新春をご健勝にてお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年12月の臨時議会で議長に選任され、その重責を改めて認識すると共に、身の引き締まる思いでいっばいです。町民各位の期待に答えるべく全身全霊を傾けその職をまっとうする覚悟です。

「万機公論に決すべし」と五箇条のご誓文を引用し、議長選挙で所信表明を致しました。その意味するところは、とことん議論を尽くしてその中で決まった事は皆で守って行こうということです。主義信条が違う個々の議員の考えが違うのは当たり前ですが、

## 私の抱負

議会の意志はひとつです。私は常にこの言葉を念頭に置き議会運営に取り組みます。

又、自治に基づく地方議会運営の基本原則を定めた「議会基本条例」制定を望む議員も多く、それに向けた動きを加速し町民に分かり易い議会の構築を目指します。さらに、各常任委員会を活性化し、議員のスキルアップを図り、議会の役目である行政へのチェック機能を果たしつつ「すべては町民のため」を実践して参ります。今後とも皆様方の一層のご指導、お力添えをお願い申し上げます。

副議長



池田 宏  
議員

総務建設経済常任委員  
(無所属) 二宮一二二一

この度、副議長に選任されましたことは、身の引き締まる思いです。

二宮町には、ゴミを適正に処理するための広域への復帰、災害に強い生活環境づくり、少子高齢化による教育・福祉問題、人口減少対策、元気な高齢者が活躍できる場づくり、さらに高齢者介護問題など多くの課題があります。

「安全で安心して生活できるまちづくり」を目指して誠心誠意を尽くして働きます。

一方、議会においては、議長とは一心同体で議会運営がスムーズに進むよう、また町民のためになるように役割を果たしたいと思えます。

現在は、議員の質問は一括方式ですが、分りにくいという声が聞こえてきます。議員の皆様の見解を聞いて一問一答方式も取入れたいと思えます。

初心に帰り、自己研鑽に励み重責を果たします。



原富士徳  
議員

総務建設経済常任委員長  
(無所属) 二宮四八八

税負担を減らし安心して暮らせる豊かな町「二宮」をテーマとして、8年間活動してきました。

ブランド創りを拡大し、町全体に波及効果の期待できる産業の創設を目指し、皆様から与えられた4年間を無駄に過ごさない議員活動を行います。



根岸ゆき子  
議員

総務建設経済常任副委員長  
(無所属) 緑が丘三一四一四

戦後、日本の福祉は「家族」に任せられて経済発展してきた。今また生活が激変する中、少しでも幸福感のある政治でありたいと願う。子どもやお年寄りの虐待記事は、二宮でも他人事ではないと感じている。これからの4年、気持ちを引き締めて活動に取り組んでまいりたい。



添田孝司  
議員

総務建設経済常任委員  
(無所属) 二宮五九二一四

面積が小さい二宮町では、会社の誘致や急激な住居地拡張による税収確保は現実的ではない。持続的な発展には健全な住民の新陳代謝が必要であり、若い世代の恒常的な転入が必要だ。町の特徴を生かした住環境を整備し、彼らが魅力を感じ憧れる町づくりに貢献したい。



二見泰弘  
議員

総務建設経済常任委員  
(無所属) 二宮八三二二

皆様のご支援により、二期目がスタートしました。深刻な少子高齢化・人口減少・歳入の減少解決のため、魅力あるまちづくりを、既存の豊富な自然や観光資源・人的資源など地域資源を有効に活かした地域づくりをしていかなければならないと思います。全力で頑張ります。



神保順子  
議員

教育福祉常任副委員長  
(神奈川ネット) 宍見が丘二〇二八

多くの皆さまから期待を頂き2期目をスタート致しました。1期目で学んだことや培った経験を生かし、より多くのかたの声に耳を傾け、対話し、公約の実現に向けて取り組んで参ります。また常に必要な情報を皆さまに伝えられるよう、更に知識の習得・情報収集に努めます。



小笠原陶子  
議員

教育福祉常任委員  
(無所属) 百合が丘二二〇一〇

再度議会に送り出していただいたその期待にお応えすべく、少しでも人様のお役にたてるよう精進します。住みよい街づくりのために今年も明るく、優しく、暖かい心で活動し、政治不信を跳ね飛ばし、政治参加・議会改革を進めます。昨年末は風邪をこじらせ反省。体力づくりに努めます。



桑原英俊  
議員

教育福祉常任委員  
(無所属) 二宮八八四一イ号

美しい自然に囲まれた長寿の里二宮。そんな素敵なかたも、少子化・超高齢化など実に様々な問題を抱えております。町民おひとりの声を大切に、町政に届けてまいります。生活者の目線で町政に取り組みます。素晴らしい町にするために全力を尽くしていきます。



近藤行宏  
議員

総務建設経済常任委員  
(無所属) 宍見が丘二九七ウライシユ五号

皆様に議会に送り出しいただいた以上、四年間全力で議会活動に邁進します。町の発展にどう貢献できるか良く考え行動していきます。財政の健全化、子育て支援を中心に町民皆様方と共に取り組んでまいります。着実、確実、誠実にをモットーに一つ一つ前に進めることを目指します。



三橋智子  
議員

教育福祉常任委員長  
(公明党) 百合が丘二一〇七四二

多くの皆様の暖かい応援を頂き、議員2期目のスタートを切らせていただきました。気持ちさをさらに引き締めて、町政の多くの課題に全力で取り組み決意です。そして町民の皆様に信頼される議会に発展させるために、常任委員会の視察・研修の充実を目指してまいります。



西山宗一  
議員

教育福祉常任委員  
(無所属) 山西五六二

再度議席を頂き感謝を申し上げます。国政不安、地方財政に影響必至。多様化する町民ニーズを適切に捉え、「安心、安全な、住みたい町」づくりに取り組みます。議会は行政のチェック機関である事を忘れず、情熱と信念をもって、町民のための議会改革を進めたい。



浅賀一伸  
議員

教育福祉常任委員  
(日本共産) 二宮五二一ウイ三〇五号

孤立感や失望感、閉塞感が強い今の社会の中で、生きづらさが蔓延しています。だからこそ、明るい展望を示し、「住民福祉の増進」という地方自治体本来の役割を発揮させるために頑張りたいと思います。町民が主人公の二宮を目指しましょう。



脇正文  
議員

教育福祉常任委員  
(無所属) 中里六九六一一

創造の町「湘南二宮」をアピールし、年配者と若者の融合で、伝統を守り、他人を思いやる人材を育てるよう努めたいと思います。これからも、町民の皆様のお声を頂き町政に訴えていきたいと思います。

# 町を彩る団体紹介

民俗芸能団体をシリーズで紹介します！



どっだ、一年の成果

## 一色はやし獅子保存会

(大山囃子)

江戸時代には既にあつたとされるお囃子が、明治時代には、夏祭りのたびに「大山囃子」が登場し、地区の名物行事として伝えられ、現在の「一色囃子」に至っている。

この伝承されてきた地域芸能を後世に残したく、昭和50年2月に「一色獅子保存会」が発足しました。昭和52年には、「神奈川県民俗芸能50選」に選ばれ「神奈川県民俗芸能大会」で発表されました。小学生を中心に構成されており、平成6年に緑が丘地区、平成10年には百合が丘地区の子どもも入会した。(会員43名)

また、母親を中心とした育成会も出来ており、「一色囃子」の保存に日々努力している。

年間行事として天津神社祭典・神明神社・八坂神社の各祭典、一色納涼盆踊り大会、百合が丘神輿祭り等多くの地区行事に参加している。

「この頭重いんぞす」祝いの席には出張公演



## 中里獅子舞保存会

設立昭和48年  
会員数 7名

中里の獅子舞は江戸時代末期、この地区に悪病が蔓延した時、この疫病を追払おうと獅子舞をしながら村内を回った事が始まりと伝えられている。一時中断していた獅子舞を中里地区有志で過去の記録を紐解き、昔ながらの獅子舞を再興し、現在

在まで続いている。

二宮町では唯一の獅子舞なので、今後とも継続し発展させたいと考えている。

年間の活動は川勾神社初舞い、明星神社祭典、町民俗芸能大会等が主なもので、会員数も限られているため活動も限定的なものになっている。

## 中里祭はやし獅子保存会

(大山囃子)  
設立昭和45年  
会員数 76名

中里地区に伝承される大山囃子は江戸時代文化・文政(1818年)頃、現在の伊勢原市大山地区から伝わり、二宮町が吾妻村になる前、中里村の時代から受け継がれ今日まで続いている。

昭和50年9月には町の無形文化財に指定され、八坂神社・明星神社の祭典日を中心に活動している。

10月に行われる川勾神社例大祭・町民俗芸能大会にも参加している。

演奏方法を伝承するため保護者はじめ、多くの経験者が子ども達を指導している。

定期的な練習会の他に自主的な練習も行われている。郷土に古くから伝わる文化を大切に、保存伝承する事が会員全ての使命と感じ、より以上の惜しみない努力を続けていく。

地域においても祭囃子を通じ、ふれあいの場を広げ地域の活性化を図っていく。



お祭り以外にも呼ばれます

## 編集室だより

改選後、新人議員5名と、新たな議長、副議長のもとで12月定例会を迎えました。

新人議員4名の新鮮な感覚での一般質問は、いい緊張感のなかで行なわれ、議員全員が新たな気持ちで議会に取り組みました。

また議会だより編集委員会も新人3名が委員となり、心機一転はりきって取り組んで参ります。手始めとして、永い間ご好評頂いていた「この人シリーズ」から、新たに「町を彩る団体」シリーズ」が始まりました。

さらに読みやすい、わかりやすい紙面作りを心がけて参ります。皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。

議会だより編集委員会  
委員長 神保 順子  
副委員長 添田 孝司  
委員 浅賀 一伸  
委員 原 富士徳  
委員 近藤 行宏  
委員 二見 泰弘